

平成24年 萩市議会12月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	12	木 村 靖 枝	12月10日午前
2	16	中 村 洋 一	
3	18	宮 内 欣 二	午後
4	19	諸 岡 皓 二	
5	3	西 中 忍	
6	4	椋 晶 雄	12月11日午前
7	14	斉 藤 眞 治	
8	9	中 野 伸	午後
9	11	松 尾 義 人	
10	10	広 兼 義 烈	
11	24	世 良 眞名夫	12月12日午前
12	1	佐々木 武 夫	
13	21	横 山 秀 二	午後
14	5	大 村 赳 夫	
15	2	関 伸 久	

質問順位	1	質問者	木村靖枝議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 総務行政	<ul style="list-style-type: none"> 1. 組織、職員管理のあり方について 2. 平成25年度の施政の取り組みについて 		
2. 教育行政	<ul style="list-style-type: none"> 1. 通学路等の安全確保について 2. 学童保育時の安全確保について 		

質問順位	2	質問者	中村洋一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. リース方式による公共施設へのLED照明の導入について			
2. 自転車走行環境の整備について			

質問順位	3	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 公平公正・透明で清潔な萩市政の確立について	<p>1. 公共工事における疑惑の発覚から、公平公正さ、透明で清潔な行政を確立するための強化策を考える必要はないか。</p> <p>2. 県が事業主体の小畑漁港工事における不当要求と金銭授受についての市長の見解を求める。</p> <p>3. 業者接待に対する市長の見解を問う。</p>		
2. 下水道料金の誤徴収問題について	<p>1. 下水道料金誤徴収の新たな発覚を受けて行政はどのような対応を行っているか。</p> <p>2. 昨年12月に職員処分を行った事例との関係をどのように考えているか。</p> <p>3. 下水道料金賦課について今後どのような手法を考えているか。</p>		
3. 生活保護行政の充実について	<p>1. 高齢加算の復元、保護基準の維持、国庫負担の100%化についての市長の見解を求める。</p>		
4. TPP参加阻止について	<p>1. 萩市の存亡がかかるTPP参加問題についての市長の見解を問う。</p>		

質問順位	4	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 公平公正な市政運営について	1. 公平公明な萩市政について市長に問う 1) 公共工事問題 2) 誤徴収問題		
2. 福祉行政について	1. 認知症対策について 1) 在宅介護の実態と対策 2) 施設への入所困難度と対策		

質問順位	5	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 子ども相談・支援室設置事業について	<p>1. この事業は、本年度より実施していますが、7ヶ月たった現在、どのような状況の子どもたちが利用しているのか、何歳ぐらいの子どもが利用しているのかなど、利用状況についてお尋ねします。</p> <p>また、文化生涯学習課と教育委員会にまたがった事業となっていますが、2つの部署にまたがって行っているメリット、デメリットについてもお尋ねします。</p> <p>さらに、来年度を含め今後この事業をどのように進めていくのかお尋ねします。</p>		

質問順位	6	質問者	椋 晶雄 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 周辺地域の道路、河川の整備について		<p>1. 市内周辺地域の道路、特に県道305号線（須佐湾高山尾浦線）は高山の海側を通っている狭い道路ですが、樹木の枝が伸び危険な個所があります。また、江津川支流の堀田から帆柱を流れる河川、須佐川の松原地区から龍背橋までの間は特にアシなどが繁り、洪水の際は危険な状態です。</p> <p>財政の厳しいなかですが、県への要望について市長の考えをお尋ねします。</p>	
2. 萩市出身の時刻表の父 手塚猛昌の顕彰事業へのご理解と支援について		<p>1. 来年は、手塚猛昌の生誕160年目に当たります。須佐地域では顕彰実行委員会を昨年結成し、業績の研究と顕彰活動を行っており、来年は記念イベントを行いたいと考えています。</p> <p>萩地域の井上勝の業績の加え、実際の乗車に必須の時刻表を初めて作り、刊行した人物でもありますから、まちおこしの一つになると思います。市長のお考えをお尋ねいたします。</p>	

質問順位	7	質問者	齊藤真治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 国民健康保険料の軽減策について	1. 医療費の適正化からの国民健康保険料の軽減策について		
2. 維新ロードの景観整備について	1. 維新ロードの景観整備について (コスモス植栽による萩悠遊ウォーキングコースとしては)		

質問順位	8	質問者	中野 伸 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 冬期交通対策	1. 除雪体制について 2. 市道・県道に覆い被さる樹木の伐採について		
2. 企業誘致推進	1. 麻生工業団地について 2. 今後の見通しについて		
3. 花と緑のまちづくり推進	1. 花と緑の推進に関する意識啓発について 2. 花と緑の応援隊について 3. 花と緑の月間について 4. 花と緑の審議会について		
4. 文化財行政	1. 堀内伝建地区の問田益田氏旧宅土塀修復について 2. 萩西中学校の土塀修復について 3. 歴史の道「御成道」の環境問題について (1) 電柱（電線）の地下埋設 (2) 側溝の整備 4. 国の史跡「萩城城下町」内の電柱撤去について		

質問順位	9	質問者	松尾義人議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 交通対策について	<p>1. 三見地区の交通対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年3月、JRダイヤ改正で、昼の時間帯の便の廃止による高齢者の通院、買い物への対策は。 		
2. 歴史の道 赤間関街道の復活について	<p>1. 三見地区のタウンミーティングにて要望された赤間関街道の復活についての検討結果は。</p>		

質問順位	10	質問者	広 兼 義 烈 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 平成25年度の行財政について問う	<p>市の人口減少率は他市に比較して高い。なんとしても減少率の鈍化を実現しなくてはならない。</p> <p>旧萩市に比べ旧町村の減少率が高い。このままでは消滅する集落も出るのでは。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口定住対策として計画されている事務・事業について問う。 2. 旧町村の人口定住対策として計画されている事業について問う。 3. 公共事業の積極的な施行で旧町村への挺入れを図るべきと思うが計画はあるのか。 4. 森林資源の活用について新たな取り組みはあるのか。 5. 地域の特色をいかしたまちづくりを今後も積極的に推進すべきだが方針に変更はないと思うがどうか。 		
2. 萩経済の再生について問う	<p>タウンミーティングで、1. 防災・減災への取り組み、2. 高齢社会への対応、3. 萩経済の再生の3点を中心に説明があった。萩経済の再生は最も重要な政策課題だと思う。経済活動を活発にすることで雇用を増やし定住を促進することが目的だと理解している。</p> <p>タウンミーティングでは、農業の再生と経済基盤の再生について説明があったが、経済の再生という全体像を理解することはできなかった。</p> <p>そこで</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どういう産業・業種を柱に経済の再生を図るのか。 2. 再生のための道筋（計画）を示していただきたい。 3. 経済の再生のためには条件整備（道路整備 土地 水等）が欠かせない。この点について説明いただきたい。 4. 所得の向上という具体的な目標はあるのか。 <p>県統計分析課の「市町民経済計算」によると平成16年度～20年度の間、市の市町民所得水準は県平均との比較で13市中13位と低迷している。再生の取り組みにより、水準の引上げを図るという設定はあるのか。</p> <p>市の経済を牽引するだけの産業・業種がないだけに困難な課題ではあるが将来を考えると積極的な取り組みが求められている。</p>		

質問順位	11	質問者	世良眞名夫 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 教育施設の統廃合について		1. 佐々並・明木中学校の統廃合について	
2. 離島問題について		1. 羽島の現状と今後の利活用について	

質問順位	1 2	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 離島対策について		1. 高齢者対策について 2. 船賃助成措置について 3. 農業・漁業問題について	
2. 萩の宝、財産活用について		1. 民間の団体、企業、個人にも潤いをもたらし、魅力があり、人との交流がなされ、市の発展や、町おこし村おこしの官民共同の智慧の終結で、維持可能な催しの創出を。	
3. 再生可能エネルギー省エネ推進対策について		1. 企業や、民間団体の協力参画について 2. 普及奨励助成措置について	

質問順位	13	質問者	横山秀二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 今後の4年間を見据えた建設計画について	<p>1. 街づくりにどう動かれるのか</p> <p>2. 財源確保にどう取り組まれるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状維持が可能か ・まもなく始まるH27からのカウントダウンが起こる交付税の一本化対策について ・歳入がダウンすれば歳出の圧縮をどこにポイントをおかれるのか ・一体感の醸成も、尻すぼみの部分もあると思えますが、今後4年の中で何か景気浮揚のものをお考えになりますかお聞かせください。 		
2. 「萩川上線」の道路改良について	<p>1. 本線の川上椿瀬～目代及び松陰大橋間は合併以来、どこも改良がなされておらず、早期改良を求めますのでお考えをお聞きします。</p>		
3. 除雪・融雪作業について	<p>1. 市全体の高齢化に伴い、業者も高齢化し、又、スリム化合理化で技術者も減っている中、除雪や融雪については、市が地区に機械を持ち、業者に業務に当たらせる方法が、今後一番良いと思いますが、確保と対応についてお聞きします。</p>		

質問順位	14	質問者	大村 赳夫 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 学校司書・学校図書室支援員の配置について	<p>1. 9月定例会において標記の事案について質問しましたが、本会議における教育委員会からの答弁はありませんでした。</p> <p>教育長は手を挙げて答弁を求めました。議員たる私も教育長を指さして答弁者ありとのアピールをしましたが、議長は一般質問は終わりましたとの宣言をされました。その後質問趣意書を出して答弁を求めましたが、答弁書はついに本議員の手許に届きませんでした。</p> <p>これは議員の真摯な質問権・調査権、或は答弁権の不行使等の問題をはらんでいます。</p> <p>どのような経過で、どんな理由で答弁書が出されなかったのか聞く。</p> <p>2. 9月定例会において教育委員会は萩市の学力向上を目指してとの説明を行われました。その折、私は重点取組事項チェックリストに読解力向上のための対策の記述がないことを指摘しました。読解力に問題があることは、学力テストでもつとに課題として認識されています。</p> <p>そのことを踏まえ、先の定例会で各小・中学校への学校司書の配置の予算化を求めました。</p> <p>平成24年1月24日付けで出された総務省自治財政局財政課よりの、学校司書の配置に係る地方財政措置が講じられていることを示し手を挙げて予算化されて欲しい旨求めました。</p> <p>このことについてお考えを伺います。</p>		
2. 指月公園で生活している野猫の防除対策を検討されていますか。			
3. 萩市で鎌倉検定の受検ができるようにしませんか。			

質問順位	15	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 第三セクターである萩公共サービス株式会社との取引はなぜ随意契約が多いのか	<p>萩公共サービス株式会社は萩市が出資する第三セクターである。</p> <p>萩市および山口県が所有する公共施設の管理受託ならびに公園作業や駐車場管理等の業務受託が主な売上である。これに昨年からの市役所の総合窓口業務の受託が新たに加わる。</p> <p>売上は平成23年3月期で252百万円、最終利益も確保している。</p> <p>しかし、萩市との取引に際して、なぜか随意契約が多い。例えば、萩ウエルネスパーク（約43百万円）や市営駐車場（約12百万円）の施設管理受託が代表例である。</p> <p>なぜ随意契約なのか</p> <p>その理由を説明して欲しい。</p> <p>萩ウエルネスパークの施設管理を43百万円以下で受託できる市内の民間企業は必ずあるはずである。市営駐車場も然り。</p> <p>競争原理を働かせるべきである。</p> <p>そして、民間活力を生み出すべきである。</p> <p>これは、今、萩市で欠けている大きなパーツだ。</p> <p>市内の民間企業が入札に参加しない、受託しない不採算な仕事こそが第3セクター、つまり萩公共サービスの本来の仕事（役割）ではないか。</p>		
2. 安定した給配水事業にむけて萩市水道事業への資本注入が必要ではないか	<p>平成23年度の萩市水道事業会計が5期振りに黒字を確保したと仄聞している。しかし、これに安心している場合ではない。水道施設の利用状況をつぶさに見れば、給水戸数こそ前年度を上回っているものの、給水人口、配水量ともに前年度割れであり、人口減少を折込む形となっている。加えて、今後は老朽化した配水管の取替えなど水道インフラにかかわる設備投資は待ったなしである。</p> <p>それは、水道事業会計の財務諸表からも読み取れる。平成23年度の有形固定資産は約5,607百万円、その減価償却費は約187百万円である。一方、売上にあたる給水収益等はわず</p>		

	<p>か約 684 百万円である。この水道事業は売上の 8 倍以上もの固定資産を抱える典型的な装置産業であり、固定資産投資がいかに重いかが、これで分かる。</p> <p>今後、これらの要因により再度赤字転落ということになれば、それは即ち利用者負担につながりかねない。つまり水道料金の値上げである。それを未然に防止する為にも、萩市からこの水道事業会計に資本注入することを提案したい。</p> <p>その資金使途は、既存の借入金の返済である。その理由は、減価償却費に次いで負担が大きいのが支払利息の約 67 百万円であり、借入金の返済により、支払利息の負担を抑えることが最大の目的である。借入金と資本を入替え、毎年黒字を確保できる体制を構築することで利益剰余金の更なる積み上げを行いたい。それは、将来の配水管取替え等の設備投資にむけた原資にもなりうる。</p>